

会議議事録

| | |
|---------|---|
| 会議の名称 | 令和7年度 第2回さぬき市子ども・子育て会議 |
| 開催日時 | 令和8年2月17日(火) 14時30分～16時10分 |
| 開催場所 | さぬき市寒川庁舎 301・302会議室 |
| 出席者氏名 | 松原委員、杉浦委員、三谷委員、黒川委員、亀井委員 瀬尾委員、白井委員、林委員、朝倉委員、川地委員 |
| 欠席者氏名 | 大山委員、多田委員、寺井委員、山本委員 |
| 事務局職員氏名 | 健康福祉部 中川部長、教育委員会 佐藤部長、幼保こども園課 真部課長、 国保・健康課 山本課長、学校教育課 樫村課長、子育て支援課 谷課長、 政策課 多田課長、政策課 多田、幼保こども園課 新納、国保・健康課 白井、 子育て支援課 岸野、山津、浅利、さぬき市社会福祉協議会 山西 |
| 会議次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 自己紹介 5 会長・副会長の選任について 6 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 少子化対策等プロジェクトチームについて (2) さぬき市こども計画代用計画について (3) こども誰でも通園制度の実施について (4) 子ども食堂の実態及び食品アクセスの状況報告について 7 その他 8 閉会 |
| 配付資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・委員名簿 ・さぬき市少子化対策等プロジェクトチームについて ・乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度) ・こども誰でも通園制度の公定価格(令和8年度～)について ・さぬき市こども計画 代用計画(案) ・食品アクセス調査実績集計表 |
| その他 | 傍聴 1名 |

| 議事内容 | |
|------------|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・委嘱状交付 ・健康福祉部 中川部長挨拶 ・自己紹介（委員及び事務局） |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・会議の成立、出席者確認、会議の公開について ・子ども・子育て会議について ・会長、副会長の選任について、どうしますか。 ・意見がないようですので、事務局に一任いただきたいと思います。会長に高松大学発達科学部学部長の松原委員、副会長にたらちね保育園の杉浦委員を選任したいと思います。よければ拍手をお願いします。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・拍手 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・会長は高松大学発達科学部学部長の松原委員、副会長はたらちね保育園の杉浦委員が選任されました。よろしくをお願いします。 |
| 松原会長、杉浦副会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・傍聴の申し出が1名いらっしゃいます。 |
| 会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・傍聴者名簿確認。 ・1名の傍聴を許可します。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・「さぬき市子ども・子育て会議条例」第5条第2項の規定により、これからの進行につきましては、松原会長にお願いします。なお、政策課につきましては、議題第1号の説明の後、ご退席させていただくこととなりますのでご了承ください。 |
| 会長（進行） | <ul style="list-style-type: none"> ・議題（1）「少子化対策等プロジェクトチームについて」、事務局から説明願いたい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・議題（1）「少子化対策等プロジェクトチームについて」説明 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・確認をしたい。岡山県の事業に参加する形で、さぬき市の取組み案を考えたという理解でいいのか。 ・資料11ページ以降の検討した取組み案の部分をもう少し詳しく聞きたい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・おっしゃるとおりで、プロジェクトチームのメンバーが岡山まで行き、事業に参加することで取組み案を検討してきました。 ・資料11ページ以降を説明。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・少子化は国内外の課題の一つである。結婚適齢期の施策が重要である。子どもからお年寄り全体を見据えたことを考えることが必要だと思う。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・私自身、中学1年と小学5年の子どもがいて子育てが楽しいと感じている。子育ての楽しさを家族みんなが感じられる活動として、父子イベントは良いと思う。また、子育てに関わる方以外にも子育ての大切さや楽しさが伝わるような施策が重要だと思う。11ページにある父子イベントの開催は、案という形で提示されているが、これから実施していくことを見据えた案になっているのか。 |

| 議事内容 | |
|------|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施にむけて検討していきますが、昨日、市長、部長に報告する場があり、これらの案をプロジェクトチームの中でもう少しブラッシュアップしたほうがいいのではないかと指摘があったため、5つの案をベースにしてもう少しブラッシュアップして実施にむけて検討していきたいと思います。 ・資料に記載してあるこれらの事業アイデア案は、市の様々な関係部局と協議しながらアイデアを集め、代表的なアイデアを資料に記載しており、これらの事業アイデア案実現するにあたってはマンパワー、お金の問題、関係部局との問題等を検討する必要があります。これらのアイデアをどのように実現していくかは、もう少し中身をブラッシュアップする必要があり、さらにいい事業になるように来年度も引き続き検討していこうという段階で今回報告させていただいています。今後、これらの案がそのまま事業になるかもしれないですし、2つの事業が組み合わさって1つの事業になるかもしれない、また他に別のアイデアが出てくる可能性もあります。本格的に事業が前に進んでいく段階になれば再度皆様に報告させていただきたいと思います。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・これらの事業アイデア案は、いつまでに実施したいと考えているのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策プロジェクトチームとして、令和9年度には何か一つでも事業を提案したいと考えています。岡山県の事業にはなぜ参加したかということ、岡山県では市町村が事業アイデアを出すためのバックアップ事業を実施しており、さぬき市においてもより良いアイデアを出すためにこの事業に参加しました。少子化問題は地域それぞれの特色があるため、地域に合う事業を展開していく必要があるという国の指針のもと、さぬき市の強みや弱み等を分析し、さぬき市に合った事業を分析しました。アイデアを出す方法は、今回、岡山県の事業に参加して学ぶことができたので、事業に参加したことは意義があったと考えています。今後は、先ほどいただいたご意見も参考しながら、事業アイデア案をさらにブラッシュアップしていきたいと考えています。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・11ページの父子イベントについてですが母子家庭はどうなるのかが気になった。少子化対策なので、若い人の定着も大事かと思うので、その部分を追加してもらいたい。また、母親もリフレッシュしたいという要望があり、土日の休日保育の要望もけっこうあったりするので、そのあたりをどのように支援していくのかも考えてほしい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・父子イベントの開催というアイデアですが、母親が子育てをするのに少しでも手助けできないかというテーマから生まれたアイデアで、先ほどご指摘があった母子家庭はどうするのか等の問題はこの事業に限らず出てくるので、そのような細かな部分をもう少しブラッシュアップして事業化を目指していきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後ブラッシュアップしていく中で、市民の方に意見を聞いたり、ニーズ調査したりする計画はあるか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では計画は立てていませんが、今後いろんな世代の方からご意見を聞いたうえで事業を実施していきたいと考えていますので、なにかしら事業の提案をしていただける場を作れるよう、努力したいと考えています。 |

| 議事内容 | |
|--------|--|
| 会長（進行） | <ul style="list-style-type: none"> ・そのほかにあれば、伺いたい。 ・なければ、議題（１）「少子化対策等プロジェクトチームについて」は終了し、次の議題に移りたいと思う。政策課の方はご退席ください。 ・議題（２）さぬき市こども計画代用計画について、事務局から説明願いたい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・議題（２）さぬき市こども計画代用計画について説明 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・さぬき市こども計画代用計画（案）の令和８年４月１日の対象児童数だが、この数字はどこから算出されているのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和７年４月１日の実績値から、令和８年４月１日の数字を作成しています。０歳児は実際には１００人近くいますが、６か月からの利用となるため、半分で見込んでいます。令和７年４月１日時点では１歳児は３６人、２歳児は３５人となっていますが、この数値をもとに少子化による減少率も考慮し、令和８年４月１日以降の数値を算出しています。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・減少率はどこを見ればいいのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和７年度の部分で説明させていただきます。０歳児は１２３人いますが、そのうち入所している児童が２６人います。１２３人から２６人を引いた人数が９７人になり、この人数が就学前施設に通っていない児童になります。０歳児は６か月からの利用になるため、この数字を半分にした４８人を対象児童数としています。同様に、１歳児は就学前児童数１６１人のうち１２５人が入所しているので、１６１人から１２５人を引き、３６人が対象児童数となります。このような計算方法になっています。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和９年度以降についてはまだ人数など不確かなところはあるかと思うが、さぬき市においては８年度４月１日から必要定員数を満たしており、実施が可能であり体制が整っていると理解してよいか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・はい |
| 会長（進行） | <ul style="list-style-type: none"> ・そのほかにあれば、伺いたい。 ・なければ、議題（２）さぬき市こども計画代用計画については終了したいと思う。 ・ほかにご意見がなければ、こちらのさぬき市こども計画代用計画案を現在のさぬき市こども計画に追加し、今後の計画としたいと思うが、承認をいただけるか。 ・意見がないので、こちらのさぬき市こども計画代用計画案を現在のさぬき市こども計画に追加したものを今後のさぬき市こども計画として策定とする。 |
| 会長（進行） | <ul style="list-style-type: none"> ・議題（３）こども誰でも通園制度の実施について、事務局から説明願いたい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・民間の事業所がこども誰でも通園制度を実施する場合、子ども・子育て会議にて意見聴取をしなければならないとされていますので、ご意見をよろしく願います。さぬき市内の事業所としては、令和８年４月１日よりたらちね保育園で実施予定となっています。 ・議題（３）こども誰でも通園制度の実施について説明 |

| 議事内容 | |
|--------|--|
| 委員 | ・利用料金について標準の利用料が300円となっているが、たらちね保育園の利用料は500円となっている。これはかまわないのか。 |
| 事務局 | ・標準は300円ですがそれ以上に料金をあげてはいけないものではなく、自由に決められるようになっていきます。 |
| 委員 | ・公立の施設と料金は同一でなくていいのか。 |
| 事務局 | ・公立の施設は国の標準に合わせて、1時間あたり300円にしています。同一でなくてもかまいません。 |
| 委員 | ・公立の施設と利用料金が違うとたらちね保育園の制度を利用しにくいと思われる方が出てくるように思うが、その差額について市からの補助等は検討されているのか。 |
| 事務局 | ・まだ制度が始まったばかりで、利用される方が実際どれくらいいるのかもわからないため、状況を見ながら考えていきたいと思います。今のところ補助等は考えていません。 |
| 委員 | ・保育の質、つまり十分な養護が行き届いていることは、小さな子どもにとって事故防止や安全確保の観点から非常に重要なことであると思うが、たらちね保育園の場合、実際に部屋を見ていないので、どのような状況なのかよくわからない。部屋の構造等を教えてほしい。 |
| 事務局 | ・保育所の一室をこども誰でも通園制度の部屋として使用予定です。0歳児の部屋、1歳児の部屋、こども誰でも通園制度の部屋と並んでいる状況です。学校の教室のようなイメージです。利用者が来た場合には、その部屋に先生も配置するようになりますので、安全面につきましては問題ないと思われまます。 ・たらちね保育園は一時預かり事業も実施していますが、その事業と一緒に実施する予定となっています。 |
| 会長（進行） | ・そのほかにあれば、伺いたい。 ・なければ、なければ、議題（3）こども誰でも通園制度の実施については終了し、次の議題に移りたいと思う。 ・議題（4）子ども食堂の実態及び食品アクセスの状況報告について、事務局から説明願いたい。 |
| 事務局 | ・議題（4）子ども食堂の実態及び食品アクセスの状況報告について説明 |
| 委員 | ・2月末に分析結果を取りまとめて、地区ごとの報告書を市に提出ということですが、また子ども・子育て会議にてご報告いただけるのか。 |
| 事務局 | ・また次回の子ども・子育て会議にてご報告させていただきます。 |
| 会長（進行） | ・そのほかにあれば、伺いたい。なければ、これで議事を終了する。 ・事務局から何かあれば伺いたい。 |
| 事務局 | ・次回の子ども・子育て会議開催時期について |
| 会長（進行） | ・閉会 |